

宇部市石炭記念館リニューアル基本構想(素案)に対するパブリックコメントの実施結果

1 実施概要

- (1) 意見募集期間：令和6年4月12日(金曜日)から令和6年5月11日(土曜日)まで
- (2) 意見提出者数：4人
- (3) 意見数：12件

2 素案に対する意見と市の考え方

項目	件数	市の考え方の区分			
		A:意見を踏まえて構想に反映するもの	B:意見の趣旨が既に構想にあるもの	C:今後の参考意見とするもの	D:その他
はじめに	1			1	
宇部市石炭記念館の概要	3		2	1	
現在の石炭記念館が抱える課題	3		1	1	1
これからの石炭記念館が果たすべき役割	1		1		
石炭記念館に求められるもの	2			2	
今後の進め方	2			2	
計	12	0	4	7	1

宇部市石炭記念館リニューアル基本構想(素案)に対する意見と市の考え方(1／9)

No.	項目	頁	意見	市の考え方	区分
1	はじめに	1	石炭記念館でボランティアガイドをされていた方と、今後の石炭記念館はどうすればよいか、よく話し合いました。様々なアイデアは尽きませんでしたが、結局、予算と人員がどうしても足りない、という所に何時も行きつき、深くため息をついていた記憶があります。厳しくも優しい炭鉱マン達は、寂れていく、忘れてても良いとまで言われたことを、静かに受け入れていたかもしれません。宇部市職員として、皆さん、どうぞ、この人々の想いも、汲んでください。よろしくお願ひいたします。	今後の参考意見といたします。	C
2	宇部市石炭記念館の概要	11	一般に、博物館には事務職員と学芸員が在籍しています。何もかも一人の学芸員に仕事と責任を負わせる現状に、さらに仕事を増やすということは、過酷ではないでしょうか。適正な人員配置と協力体制が必要かと思います。	人員配置や協力体制の必要性については、基本構想(素案)23ページに記載のとおり、行政が抱える課題として考えています。	B
3	宇部市石炭記念館の概要	15 ～ 16	行政の欠点である定期的メンテナンスの不足が現在にあるのは？	今後の参考意見といたします。	C

宇部市石炭記念館リニューアル基本構想(素案)に対する意見と市の考え方(2／9)

No.	項目	頁	意見	市の考え方	区分
4	宇部市石炭記念館の概要	17	韓国の3階建ての太白石炭博物館では、石炭採掘の歴史が子どもにも興味深く理解できる模擬坑道に再現されていて、他の展示にもストーリー性があります。(夕張の人が渡した設計図に準じて構成されたそうです)	基本構想(素案)26ページ「2 基本的な取組(2)①」と考えています。	B
5	現在の石炭記念館が抱える課題	22	提言書のとおりで良いと思います。	参考意見といたします。	C
6	現在の石炭記念館が抱える課題	22	展望台の高さが低い。50メートル以上の高さが必要。(盛岡駅付属のマリオスは、官民共同事業で建てている。すばらしいナガメが見られる。)	展望台の高さについては、山口宇部空港が近隣にあることから高さに制限があるため対応が困難と考えています。	D
7	現在の石炭記念館が抱える課題	22 ～ 23	提言書に示された課題はすべてが当てはまる内容です。特に、収蔵庫・学習・イベントスペースが必須です。勉強して知識を蓄積した学芸員が交替すると、次に教授できる人が少ないです。正規雇用の学芸員が必要に思います。	基本構想(素案)26ページ「2 基本的な取組(1)①」及び27ページ「3 検討方針(1)」と考えています。	B
8	これからの石炭記念館が果たすべき役割など	24 ～ 28	石炭産業は終わっても、過去・現在・未来のエネルギー産業などを学ぶ施設に位置づける石炭記念館に生まれ変わる必要があります。	基本構想(素案)26ページ「2 基本的な取組(2)①」と考えています。	B

宇部市石炭記念館リニューアル基本構想(素案)に対する意見と市の考え方(3／9)

No.	項目	頁	意見	市の考え方	区分
9	石炭記念館に求められるもの	26	デジタルアーカイブ構想について、資料のデジタル化とデジタルアーカイブ(一般にネット上で公開、素材は自由に利用可とするもの)それぞれを考慮して資料保存の観点からも行っていただきたいと思います。博物館等では、館内のみ公開という形でデジタル化した資料を公開している場合が多くあります。炭鉱という資料の性格上、また、撮られている人の肖像権や個人情報に関わる問題があるので、ネットでの取り扱いには充分気を付けてください。	今後の参考意見といたします。	C
10	石炭記念館に求められるもの	26	資料の収集について、開館当初からの収蔵品および資料、書籍が、何らかの事情で、くすのき及び本館の図書館などに移管されている気がします。(産業遺産指定された際には、関係資料が約2000点、とありました)その他にも気になる点はありますが、まず、市の施設、市庁舎の中で分散している資料を、リスト化または確認することから始めることも必要かと思います。同時に市民等からの収集も必要ですが、今が最後の機会、閉山から半世紀以上経っているため、出てくるのは民俗資料的なもの、または既存の書籍が多いかもしれません。市が収集、寄贈されてきた紙資料等の多くは学びの森くすのきにあると考えられますが、図書館本館書庫内(つまり古い書籍・閉架)にも、石炭記念館の資料として価値がある(石炭関係の基本的な書籍だが地域資料ではない)ものが存在しているのではと思います。	今後の参考意見といたします。	C

宇部市石炭記念館リニューアル基本構想(素案)に対する意見と市の考え方(4／9)

No.	項目	頁	意見	市の考え方	区分
11	今後の進め方	28	約20年前にも、同様の提言はあったと聞きます。が、実現に至らなかったと聞いています。これが最後のチャンス、様々な意味で最後のチャンスと言えます。計画的に、現実可能で100年後の人々に失笑されない資料館の計画を、お願ひいたします。	参考意見といたします。	C
12	今後の進め方	28	資料を収集しても、石炭記念館には、資料を管理する物理的な場所がありません。早急に収蔵庫(温度・湿度管理可)が必要です。石炭記念館に隣接している土地に、収蔵庫・書庫・イベント開催も可能なフロアも併設した建物を建設することは難しいでしょうか。この建物を経由することによって、中央駐車場から直接記念館までの通行が可能になれば、記念館までの長い坂を登れないことで来館を諦めるお年寄りや家族連れが無くなります。(ついでに上からSLを見ることが出来ます)または、旧図書館の建物を再利用する形で、リフォームの上、新しい歴史資料館的な建物とすることもありかもしれません(新川駅が近いので、観光拠点施設・文化交流施設としても可能かと思います)。	今後の参考意見といたします。	C